

1. 考えるカラス

科学のABCのカメラのこうらや景シバのびる映像を見て、とてもおもしろいよと「考えるカラス」面白かったと思えば科学のABCは子どもの頃はより頻繁にしていたなと思った。授業中に「答えを知ると考える、固まってしまう」とあったのは本当にその通りで、成長するにつれて観察や仮説を立てることすらしなくなっているのだと思う。大人になんてなってるのね!

ゴッパの影がなぜ指を前後するだけで伸びたりするのかわからず不思議で、たまりません。物理的に変形することもないのに おもしろいなと思いました。

2. PDCA 教職科目の授業を受けると、「PDCAサイクル」がよく耳にする。

3. 科学のABC

自分も身近なものから科学のABCを考えたい。

科学のABCの話を聞いて24時間、私は疑問に感じることが多くて、ネットで軽く調べたのですが、分らな気がして、答えたりすることはほとんどできず、気が重かった。しかし、考えて自分の力で調べることにし、生活が豊かになるのではと思いました。

日常生活の中で直感的に生活することは多いですが、今回学んだ科学のABCを活用することで、日々の行動を明確化できると感じました。疑問を持つことも大切で、良い方法を見つけました。

Good!

考えまわらないために悩み続けてしまうのかなと感じた。また、考え方がクリアになって、考え方を自分のものにできるという話をした時に、今まで無意識的に行っていたことが、その考え方を自分のものにしたことによって、より意識的に行うことができ、より理解を深められるのでは...と思ったすぐ後に、先生が、ほぼ同じようなことを言っていて、少し笑ってしまいました。

当たり前だと思っていたり、そういうものであるという偏見から疑問に思うことがなくても、何かをきっかけに疑問を持つと、こう思っていたことはただの偏見だったということに気づかされるなと思った。

4. 生まれながらの科学者

人間は無意識的に法則を理解していることについて整える。

私たちは無意識のうちに自然法則を理解しているというのは、なんだか神秘的で面白いなと思ったが、その無意識に理解している自然法則は、必しも100%正確なものではないのか、また難しい